



毎日、発明する会社



## 平成30年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年12月8日

上場会社名 フリービット株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3843 URL http://www.freebit.com/  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）田中 伸明  
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員グループ経営管理本部長 （氏名）和田 育子 TEL 03-5459-0522  
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成30年4月期第2四半期の連結業績（平成29年5月1日～平成29年10月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第2四半期	19,407	3.8	422	△62.2	△3	—	△806	—
29年4月期第2四半期	18,689	40.1	1,118	32.3	839	41.9	192	△12.1

（注）包括利益 30年4月期第2四半期 △710百万円（－％） 29年4月期第2四半期 458百万円（9.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第2四半期	△36.34	—
29年4月期第2四半期	8.65	8.65

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第2四半期	26,304	10,362	33.0
29年4月期	25,597	11,251	37.7

（参考）自己資本 30年4月期第2四半期 8,679百万円 29年4月期 9,648百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30年4月期	—	0.00	—	—	—
30年4月期（予想）	—	—	—	7.00	7.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 平成30年4月期の連結業績予想（平成29年5月1日～平成30年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	13.6	2,000	51.4	1,900	135.3	100	—	4.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年4月期2Q	23,414,000株	29年4月期	23,414,000株
② 期末自己株式数	30年4月期2Q	1,218,800株	29年4月期	1,218,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年4月期2Q	22,195,200株	29年4月期2Q	22,195,200株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算の概要説明の入手若しくは閲覧の方法）

- ・ 四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を行うとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。
- ・ 四半期決算の概要説明は、その記録動画を当社ウェブサイトにも速やかに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

「経営成績に関する説明」において使用する名称の正式名称及びその説明は、下記のとおりであります。

使用名称	正式名称	説明
Health Tech	Health Technology	“健康×IT”によりヘルスケア領域に変革を起こし、次世代の健康管理メソッドを創出していくもの
IoT	Internet of Things	モノに通信機能を持たせてモノ同士が相互通信することにより、ヒトが介在することなく自動認識や自動制御などが行える仕組み
不動産Tech	Real Estate Technology	“不動産×IT”により不動産業界に新しいサービスの潮流を起こし、ITを用いて不動産関連サービスを進化させていくもの
MVNO	Mobile Virtual Network Operator	仮想移動体通信事業者
MVNE	Mobile Virtual Network Enabler	MVNOの支援事業者
SIM	Subscriber Identity Module	モバイル端末でデータ通信や音声通話などを行うために必要なICチップカード
DTI	株式会社ドリーム・トレイン・インターネット	当社連結子会社
DTI SIM	DTI SIM	DTIが提供する格安SIMサービス
トーンモバイル	トーンモバイル株式会社	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社との合弁会社で、当社持分法適用関連会社
アドテクノロジー	Ad Technology	「テクノロジーを駆使した広告」の総称で主にインターネット広告における配信技術や広告流通の技術
フルスピード	株式会社フルスピード	当社連結子会社
ソーシャルメディアマーケティング	Social Media Marketing	SNS(Social Networking Service)向けの広告
アドネットワーク	Ad Network	インターネットメディアへの広告配信を効率的に行うシステム
フォーイット	株式会社フォーイット	当社連結子会社
アフィリエイト	Affiliate Marketing	Webページ等の広告を経由して、広告主のサイトで会員登録や商品購入をした場合にリンク元の媒体運営者へ報酬が支払われる仕組み
フリービットEPARKヘルスケア	株式会社フリービットEPARKヘルスケア	当社連結子会社
ギガプライズ	株式会社ギガプライズ	当社連結子会社
ICT	Information and Communication Technology	情報通信技術
SNS	Social Networking Service	インターネットを利用して社会的ネットワークを構築可能にするサービス
クラウド	Cloud Computing	ソフトウェア等をネットワーク越しに利用者に提供する仕組みやそのデータが蓄積・運用されているデータセンター及びサーバー群の総称
パブリッククラウド	Public Cloud	クラウドのうち、インターネットから誰でも利用できるようなサービスやシステム
プライベートクラウド	Private Cloud	クラウドのうち、大企業などが自社ネットワーク上で利用するためのサービスやシステム
ハイブリッドクラウド	Hybrid Cloud	パブリッククラウドとプライベートクラウドを組み合わせたもの

当社グループは、中期事業方針『SiLK VISION 2020』を掲げ、2020年(平成32年)4月期に連結売上高500億円、連結営業利益50億円の達成を目指し、「成長領域に注力した新分野への進出と継続的発展」を図っていくとの戦略のもと、モバイル事業・アドテクノロジー事業の継続成長及び生活領域(“Health Tech”、“IoT”、“不動産Tech”)の中長期での事業拡大に努めており、当第2四半期連結累計期間においても同方針に則り推進し、継続成長事業の拡大と今後の発展に向けた生活領域の事業育成に注力しました。

継続成長事業の1つと位置付けているモバイル事業では、MVNO市場において大手モバイル通信キャリアによるサブブランドの拡大や参入事業者の増加、事業者再編などの環境変化があったものの、引き続き市場規模が拡大していることを受け、当社がMVNEとして提供するMVNO支援パッケージサービス「freebit MVNO Pack」の利用事業者向けSIM発行総数が積み上がることとなりました。また、MVNOであるDTIではユーザーニーズを機敏に捉えた新プランの投入や販促キャンペーンを講じることで「DTI SIM」の他社との差別化を図りました。同じくMVNOとして格安スマートフォンを提供するトーンモバイルでは、新端末「TONE m17」をリリースするとともに、自社ユーザー層に合わせたキャンペーンの実施や独自サービスの強化を図るなど、更なるユーザー数拡大に尽力しました。

もう1つの継続成長事業と位置付けているアドテクノロジー事業では、フルスピードがアドテクノロジーを活かしたソーシャルメディアマーケティングやスマートフォン向け動画アドネットワークをはじめとしたインターネットマーケティングサービスの拡大を実行したことに加え、フォービットにおいてもアフィリエーターの利用満足度が極めて高いアフィリエイトサービス「afb」の更なる利便性の向上に取り組んだことが奏功し、事業規模が拡大しました。

新分野である生活領域の各事業については、今後の当社グループ発展の一翼を担うものとするべくその育成に注力しており、“Health Tech”分野においてはフリービットEPARKヘルスケアが、また“IoT”分野においては当社が、そして“不動産Tech”分野においてはギガプライズがそれぞれ中心となり、当社グループの事業リソースを最大限に活かす形で推し進めています。当社グループでは、現段階においてユーザー獲得を最優先事項と位置付けており、それによって蓄積されるユーザーデータベースを競合他社との差別化に活かしていくことが、結果的には市場における絶対的優位性の確立に繋がると捉えています。そのためには、性急な収益化よりもユーザー獲得のための投資を継続していくことが肝要だと認識しています。

以上の結果、売上高は19,407,419千円(前年同四半期比3.8%増)となりました。なお、育成対象の一つである“Health Tech”分野で事業を行うフリービットEPARKヘルスケアが連結対象となったことなどにより、営業利益は422,767千円(前年同四半期比62.2%減)となりました。また、持分法による投資損失408,263千円等により、経常損失は3,752千円(前年同四半期は839,402千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は806,650千円(前年同四半期は192,063千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、サービスの多様化による事業実態の変化に合わせ、ブロードバンド事業及びアドテクノロジー事業と区分していた売上及び費用の一部をモバイル事業に、また、ブロードバンド事業と区分していた売上及び費用の一部をクラウド事業に区分変更しています。そのため、前年同四半期との比較については、当第2四半期連結累計期間の区分に基づき行っています。

#### ① ブロードバンド事業

スマートフォンやタブレットといったICT端末の普及に伴って、宅内Wi-Fi環境を通じたネット動画視聴並びにゲームをはじめとしたリッチコンテンツやSNSの利用増加等により固定回線網の帯域費用が高止まりしたものの、集合住宅向けインターネットサービスの順調な拡大が売上高及びセグメント利益の伸張を牽引しました。

以上の結果、売上高は5,649,523千円(前年同四半期比15.3%増)、セグメント利益は916,938千円(前年同四半期比11.7%増)となりました。

#### ② モバイル事業

当社グループがMVNEとして提供するMVNO向けSIM発行枚数が着実に積み上がる結果となったとともに、MVNOとしてエンドユーザー向けに提供する格安SIMサービスにおいても新プランの投入や販促キャンペーンを実施するなど、競合他社との差別化を図り、更なるユーザー獲得に努めました。

以上の結果、売上高は4,420,045千円(前年同四半期比15.3%減)、セグメント損失は312,489千円(前年同四半期は58,394千円のセグメント損失)となりました。なお、トーンモバイルへの専用端末の一括納入があったことにより、一時的に売上高が増加するとともに、セグメント損失額も減少しています。

## ③ アドテクノロジー事業

当社グループ独自のアドテクノロジー関連サービスである広告運用統合プラットフォーム「ADMATRIX DSP」やスマートフォン向け動画アドネットワーク「PolymorphicAds」等の提供に注力し、また、インターネットマーケティング関連のサービスにおいても、既存サービスの拡大に加えてSNS等の運用広告サービスの提供を積極的に展開しました。また、アフィリエイトサービスにおいては、得意とする業界だけの伸長に止まらず、その他の業界での提供も順調に広がったことで、引き続き、事業規模並びに収益規模が拡大しました。

以上の結果、売上高は7,976,267千円（前年同四半期比3.5%増）、セグメント利益は735,136千円（前年同四半期比26.1%増）となりました。

## ④ クラウド事業

パブリッククラウドサービス及びプライベートクラウドサービス、そしてそれを組み合わせたハイブリッドクラウドサービスの拡販を継続するとともに、IoT特化型クラウドサービスを投入する一方で、システムの整備・改善とレガシーサービスの淘汰を図りました。

以上の結果、売上高は904,468千円（前年同四半期比11.1%減）、セグメント利益は6,180千円（前年同四半期比94.8%減）となりました。

## ⑤ ヘルステック事業

当社グループの有する技術力や事業リソースを活かした事業拡大が見込める薬局向けソリューションサービスの提供を目的に、前連結会計年度よりフリービットEPARKヘルスケアを連結子会社化した結果、売上高が529,691千円、セグメント損失は490,518千円となりました。

なお、フリービットEPARKヘルスケアの連結子会社化が前第2四半期連結会計期間末であったため、その実績比較は行っていません。

## セグメント別売上高及びセグメント損益

(単位：千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失（△）
ブロードバンド事業	5,649,523	916,938
モバイル事業	4,420,045	△312,489
アドテクノロジー事業	7,976,267	735,136
クラウド事業	904,468	6,180
ヘルステック事業	529,691	△490,518
その他	133,010	5,137
調整額	△205,587	△437,616
合計	19,407,419	422,767

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は26,304,540千円となり、前連結会計年度末と比べて707,272千円増加しました。これは主として、現金及び預金が477,893千円、のれんが361,745千円減少したものの、受取手形及び売掛金が837,434千円、商品及び製品が235,149千円増加したことによるものです。

負債合計は15,942,178千円となり、前連結会計年度末と比べて1,596,168千円増加しました。これは主として、短期借入金が1,138,500千円、長期借入金が519,051千円増加したことによるものです。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末と比べて888,896千円減少の10,362,362千円となり、この結果、自己資本比率は33.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月期の通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期の業績が概ね想定通り推移しているため、平成29年6月9日に公表しました数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,249,153	9,771,260
受取手形及び売掛金	4,226,776	5,064,211
商品及び製品	202,337	437,486
仕掛品	48,491	123,918
原材料及び貯蔵品	5,055	27,277
その他	2,904,885	2,702,189
貸倒引当金	△222,270	△217,490
流動資産合計	17,414,429	17,908,853
固定資産		
有形固定資産	1,886,317	1,962,695
無形固定資産		
のれん	2,786,516	2,424,771
ソフトウェア	1,261,746	1,393,127
その他	660,593	788,946
無形固定資産合計	4,708,856	4,606,844
投資その他の資産		
投資有価証券	800,240	934,216
差入保証金	461,047	470,996
その他	612,901	698,715
貸倒引当金	△286,524	△277,781
投資その他の資産合計	1,587,664	1,826,146
固定資産合計	8,182,838	8,395,687
資産合計	25,597,268	26,304,540
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,866	297,254
短期借入金	911,500	2,050,000
1年内返済予定の長期借入金	989,006	1,121,194
未払金	5,461,641	4,713,677
未払法人税等	344,576	486,855
引当金	264,859	283,640
その他	1,322,329	1,176,868
流動負債合計	9,579,779	10,129,491
固定負債		
社債	2,611,000	2,611,000
長期借入金	961,413	1,480,464
退職給付に係る負債	21,960	24,973
その他	1,171,857	1,696,249
固定負債合計	4,766,230	5,812,686
負債合計	14,346,009	15,942,178

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,514,185	4,514,185
資本剰余金	3,135,459	3,131,648
利益剰余金	2,760,876	1,798,859
自己株式	△752,710	△752,710
株主資本合計	9,657,810	8,691,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,460	△18,583
為替換算調整勘定	8,853	5,976
その他の包括利益累計額合計	△9,606	△12,606
新株予約権	1,608	1,608
非支配株主持分	1,601,446	1,681,379
純資産合計	11,251,258	10,362,362
負債純資産合計	25,597,268	26,304,540

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
売上高	18,689,011	19,407,419
売上原価	14,349,606	14,569,013
売上総利益	4,339,404	4,838,405
販売費及び一般管理費	3,221,192	4,415,638
営業利益	1,118,212	422,767
営業外収益		
受取利息	826	968
受取配当金	1,617	6
投資有価証券評価益	32,476	—
債務免除益	—	4,124
還付消費税等	621	5,848
その他	3,324	19,609
営業外収益合計	38,865	30,557
営業外費用		
支払利息	20,057	35,782
持分法による投資損失	264,229	408,263
その他	33,388	13,032
営業外費用合計	317,675	457,077
経常利益又は経常損失(△)	839,402	△3,752
特別利益		
投資有価証券売却益	985	—
負ののれん発生益	—	573
特別利益合計	985	573
特別損失		
減損損失	—	128,600
固定資産売却損	—	2,053
固定資産除却損	10	20,267
投資有価証券評価損	—	2,092
事務所移転費用	857	—
通信設備除却費用負担金	17,529	19,844
特別損失合計	18,397	172,858
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	821,989	△176,038
法人税、住民税及び事業税	299,339	422,395
法人税等調整額	109,959	109,798
法人税等合計	409,298	532,193
四半期純利益又は四半期純損失(△)	412,690	△708,232
非支配株主に帰属する四半期純利益	220,626	98,418
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	192,063	△806,650

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	412,690	△708,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,686	△115
繰延ヘッジ損益	21,752	—
為替換算調整勘定	8,163	△1,681
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,427	—
その他の包括利益合計	46,174	△1,797
四半期包括利益	458,865	△710,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226,601	△809,650
非支配株主に係る四半期包括利益	232,264	99,621

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	821,989	△176,038
減価償却費	313,679	480,329
のれん償却額	326,053	446,608
貸倒引当金の増減額(△は減少)	135,819	△13,701
受取利息及び受取配当金	△2,443	△975
支払利息	20,057	35,782
為替差損益(△は益)	6,634	△3,038
持分法による投資損益(△は益)	264,229	408,263
減損損失	—	128,600
売上債権の増減額(△は増加)	116,633	△826,388
たな卸資産の増減額(△は増加)	511,657	△325,222
その他の流動資産の増減額(△は増加)	619,183	246,065
未払金の増減額(△は減少)	△367,395	△762,757
その他の流動負債の増減額(△は減少)	59,467	△89,516
その他	△286,124	△11,498
小計	2,539,442	△463,486
利息及び配当金の受取額	1,247	1,173
利息の支払額	△19,526	△17,311
法人税等の支払額	△580,911	△620,054
法人税等の還付額	265,972	285,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,206,225	△814,465
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△78,847	△113,961
無形固定資産の取得による支出	△187,655	△586,099
投資有価証券の取得による支出	△50,814	△139,109
貸付けによる支出	△45,000	△231,500
その他	△881,852	4,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,244,170	△1,066,049
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	938,000	1,133,686
長期借入れによる収入	800,000	1,180,000
長期借入金の返済による支出	△657,588	△542,389
配当金の支払額	△155,275	△156,442
リース債務の返済による支出	△143,982	△185,507
その他	△29,771	△27,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	751,382	1,401,621
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,843	1,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,709,593	△477,893
現金及び現金同等物の期首残高	7,911,008	10,249,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,620,601	9,771,260

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド 事業	モバイル事業	アドテクノロジー 事業	クラウド事業	ヘルステック 事業
売上高					
外部顧客への売上高	4,797,815	5,219,933	7,687,532	953,942	—
セグメント間の内部売上高 又は振替高	101,325	1,030	15,511	63,577	—
計	4,899,140	5,220,964	7,703,043	1,017,519	—
セグメント利益又は損失(△)	821,220	△58,394	583,003	119,537	—

(単位:千円)

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	29,787	18,689,011	—	18,689,011
セグメント間の内部売上高 又は振替高	111	181,556	△181,556	—
計	29,899	18,870,567	△181,556	18,689,011
セグメント利益又は損失(△)	△46,745	1,418,621	△300,409	1,118,212

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△300,409千円には、のれん償却額△309,191千円及びその他の連結調整額8,782千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当社は、株式会社EPARKヘルスケアについて株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、当該事象により、のれんが1,550,161千円増加しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年5月1日 至平成29年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	ブロードバンド事業	モバイル事業	アドテクノロジー事業	クラウド事業	ヘルステック事業
売上高					
外部顧客への売上高	5,560,288	4,414,546	7,961,349	838,449	529,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	89,234	5,498	14,918	66,018	—
計	5,649,523	4,420,045	7,976,267	904,468	529,691
セグメント利益又は損失（△）	916,938	△312,489	735,136	6,180	△490,518

（単位：千円）

	その他 （注）1	合計	調整額 （注）2	四半期連結損益 計算書計上額 （注）3
売上高				
外部顧客への売上高	103,093	19,407,419	—	19,407,419
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,916	205,587	△205,587	—
計	133,010	19,613,006	△205,587	19,407,419
セグメント利益又は損失（△）	5,137	860,384	△437,616	422,767

- （注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり不動産賃貸等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△437,616千円には、のれん償却額△443,432千円及びその他の連結調整額5,816千円が含まれております。  
 3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

アドテクノロジー事業において、一部のシステムについては当初想定していた収益を見込めなくなったため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては128,600千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、サービスの多様化による実態の変化に合わせ、ブロードバンド事業及びアドテクノロジー事業と区分していた売上及び費用の一部をモバイル事業に、ブロードバンド事業と区分していた売上及び費用の一部をクラウド事業に区分変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の区分に基づき作成したものを開示しております。また、前第3四半期連結会計期間より、薬局向けソリューションサービスを行う株式会社フリービットEPARKヘルスケアを連結の範囲に含め新たな事業を開始したため、報告セグメントとしてヘルステック事業を追加しております。